

美穂地区内の相撲に関する石碑を掲載します

明治の終わりごろから因伯相撲が始まり、出世相撲として五両から八両までの位の段階で、因伯の相撲番付にのせられた。出世の方法は無両の力士が五両の力士2人に勝てば五両に、さらに六両の力士2人に勝てば六両に進んで、力次第で一日の興業中に七両、八両に昇進した力士もあった。この出世相撲が県下の力士の養成と普及に大いに役立っている。

美穂地区内では5個の石碑がある。

次のとおりである。

<p>朝日野源工衛門塚 26 (石碑番号) 鳥取市上味野岩崎 因伯相撲(田舎相撲)五両まで出世した力士</p>		
<p>島渡甚九郎 54 (石碑番号) 鳥取市下味野 浅田 徹宅前</p>		
<p>松響 巖 65 (石碑番号) 鳥取市下味野北川橋詰め 昭和28年国体青年の部で団体4位</p>		
<p>若勇芳松 66 (石碑番号) 鳥取市下味野北川橋詰め</p>		
<p>花の山新造塚 67 (石碑番号) 鳥取市下味野北川橋詰め</p>		
<p>若柳幸一塚 68 (石碑番号) 鳥取市下味野北川橋詰め</p>		

次回は鶴尾城に関する武田一族を掲載します。